

# フロンティア・ワールド・インカム・ファンド

## 追加型投信／海外／債券

### 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、外国籍の投資信託証券を通じて、主として新興国の政府または政府機関などが発行する債券に実質的に投資します。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2025年3月18日～2025年9月16日

第227期	決算日：2025年4月15日	
第228期	決算日：2025年5月15日	
第229期	決算日：2025年6月16日	
第230期	決算日：2025年7月15日	
第231期	決算日：2025年8月15日	
第232期	決算日：2025年9月16日	
第232期末 (2025年9月16日)	基 準 価 額 純資産総額	2,295円 16,361百万円
第227期～ 第232期	騰 落 率 分配金合計	8.1% 90円

(注1) 謄落率は分配金再投資基準価額の謄落率を表示しています。

(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ) 。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

### ■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

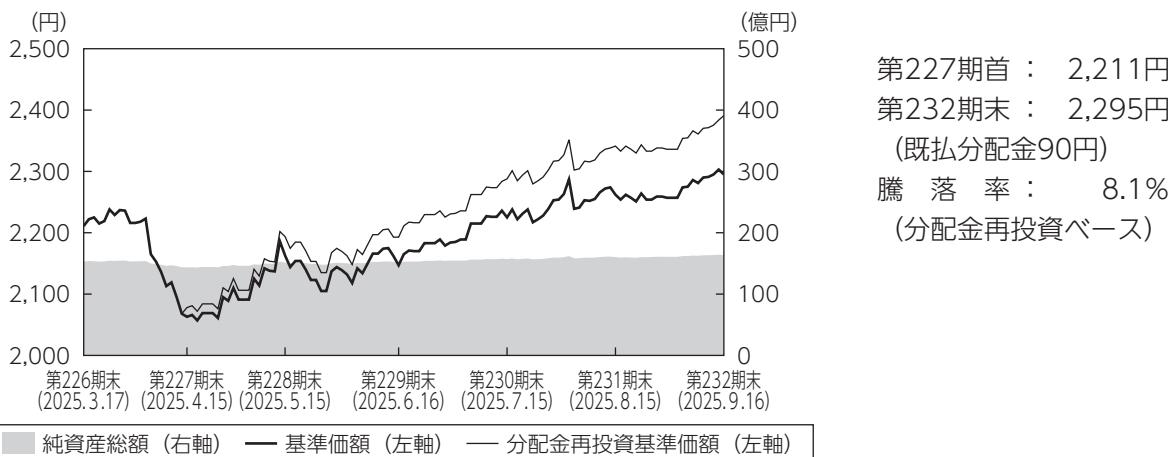
お客様のお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <https://www.am-one.co.jp/>

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

フランクリン・テンプルトン・フロンティア・エマージング・マーケット・デット・ファンドの円建受益証券（以下、ボンド・ファンド）を通じて、主として新興国の政府または政府機関などが発行する債券に実質的に投資した結果、為替市場は米ドルが対円で小幅下落したものの、エマージング通貨が対円で上昇し、エマージング債券市場も上昇したことから基準価額は上昇しました。

## 1万口当たりの費用明細

項目	第227期～第232期		項目の概要	
	(2025年3月18日～2025年9月16日)			
	金額	比率		
(a) 信託報酬 （投信会社）	13円 ( 5)	0.575% (0.230)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は2,190円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価	
(販売会社)	( 7)	(0.330)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価	
(受託会社)	( 0)	(0.015)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価	
(b) その他費用 （監査費用）	0 ( 0)	0.000 (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用	
合計	13	0.575		

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

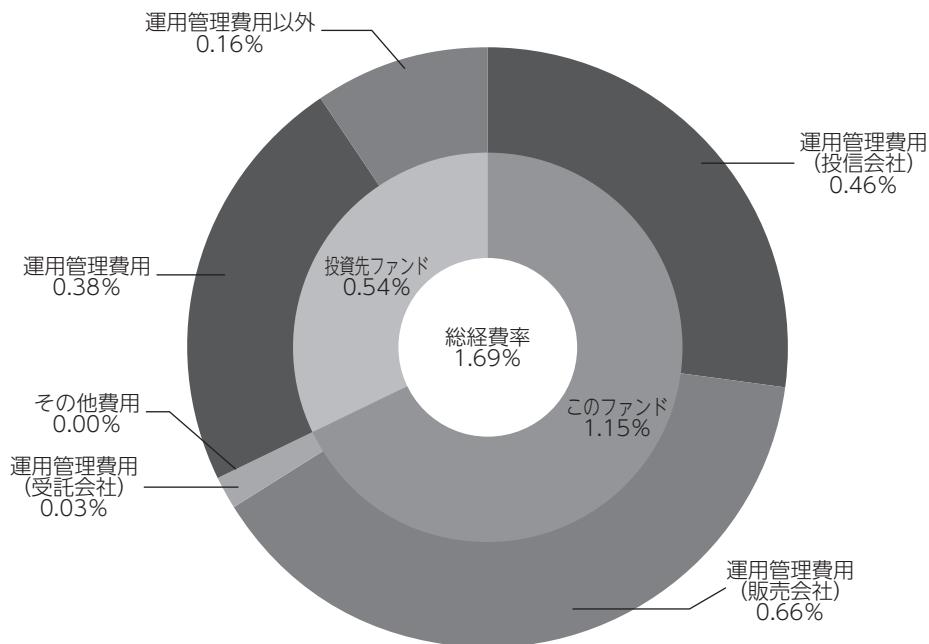
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

**(参考情報)****◆総経費率**

当社成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.69%です。



総経費率 (①+②+③)	1.69%
①このファンドの費用の比率	1.15%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.38%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.16%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

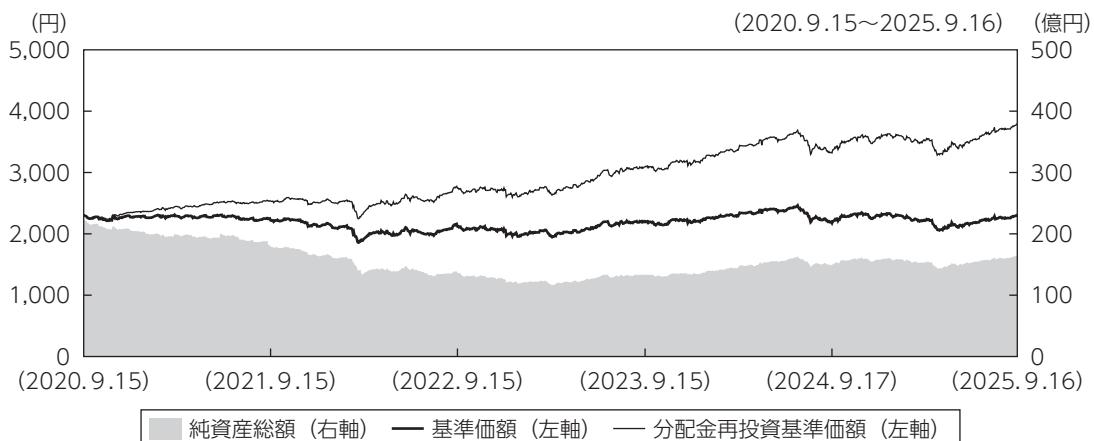
(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドは、源泉税を含みません。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## ■ 最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2020年9月15日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2020年9月15日 期首	2021年9月15日 決算日	2022年9月15日 決算日	2023年9月15日 決算日	2024年9月17日 決算日	2025年9月16日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	2,301	2,219	2,122	2,193	2,174	2,295
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	300	260	180	180	180
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	10.1	8.4	12.7	7.3	14.4
参考指数の騰落率 (%)	—	8.4	2.1	9.2	10.2	14.6
純資産総額 (百万円)	22,227	17,893	13,633	13,327	14,823	16,361

(注1) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数はJPモルガン エマージング マーケット ボンド インデックス グローバル ダイバーシファイド (円換算) です。参考指数については後掲の＜当ファンドの参考指数について＞をご参照ください。

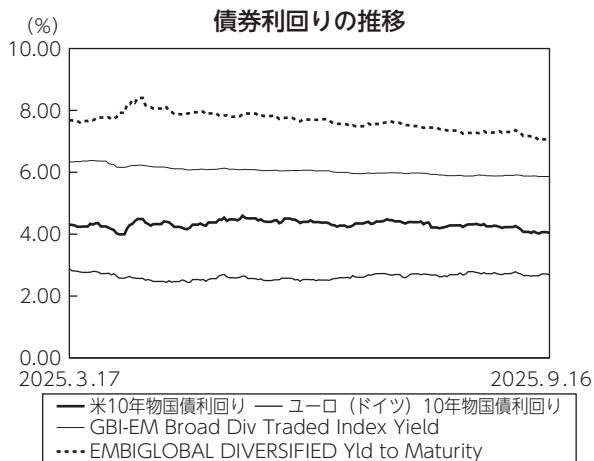
(注2) 参考指数は、基準価額への反映を考慮して、基準価額算出日前日の指値を基準価額算出当日の為替レート (対顧客電信売買相場仲値) で円換算しております (以下同じ)。

## 投資環境

エマージング債券市場は、堅調でした。作成期初から4月にかけては米政権による相互関税公表を受け軟調でした。その後は米中貿易交渉の進展により関税が大幅に引き下がったことや米国とEUの関税交渉が妥結したこと、投資家のリスク選好姿勢が高まり堅調に推移しました。作成期末にかけても、米国の雇用統計が労働市場の減速を示したことやパウエルFRB（米連邦準備理事会）議長が利下げの可能性を示唆したことなどから堅調でした。

米ドルは対円で小幅下落しました。米関税政策を巡る不透明感の高まりやパウエルFRB議長の解任観測などからドルの信認低下が意識され、4月にかけて米ドル安円高となりました。その後作成期末にかけては、米中貿易交渉の進展により関税が大幅に引き下がったことや日本の参院選における与党の過半数割れに伴う政局の不透明感の高まりなどを受けて米ドル高円安となりました。一方、エマージング通貨は投資家のリスク選好姿勢が高まり、対円で上昇しました。

国内短期金融市場では、3ヵ月国庫短期証券利回りは0.2%台から0.4%台のレンジ内で上下する動きとなりました。



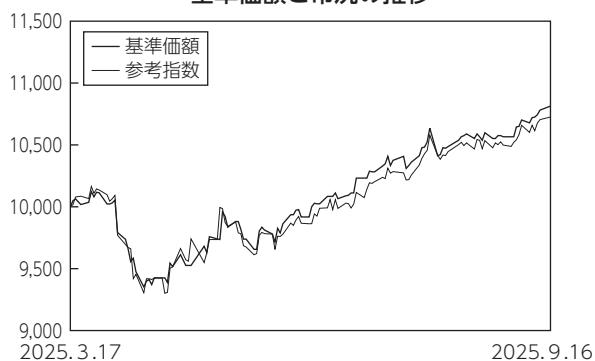
(注) 値は前営業日のものを用いております。

## 【ポートフォリオについて

### ●当ファンド

ボンド・ファンドへの投資配分については、資金動向や市場動向等を勘案して、期を通して高位としました。また、国内短期公社債マザーファンドへの投資も継続しました。

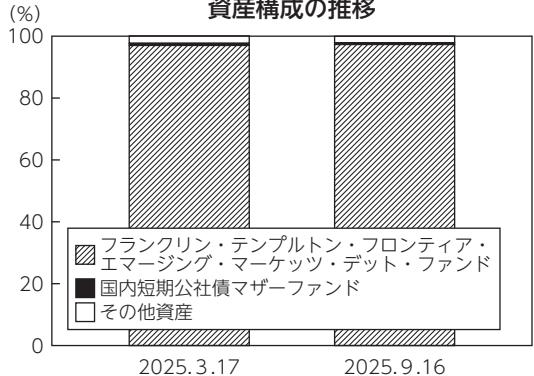
基準価額と市況の推移



※第226期末を10,000とした指数で表示しております。

※基準価額は、当作成期間における分配金を再投資したものとみなして計算しています。

資産構成の推移



※比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

## ●ボンド・ファンド

新興国の政府または政府機関等が発行する債券を高位とし長期的に安定した収益の確保を目的とした運用を行いました。新興国の経済状況、金融政策見通しや債券市況の動向を分析してポートフォリオの構築に努めました。期末時点におけるボンド・ファンドの平均最終利回りは約8.3%、平均直接利回りは約7.8%、デュレーションは約4.9年、通貨配分は、米ドルを中心とした先進国通貨建て債券は約63%、エマージング通貨建て債券は約32%でした。



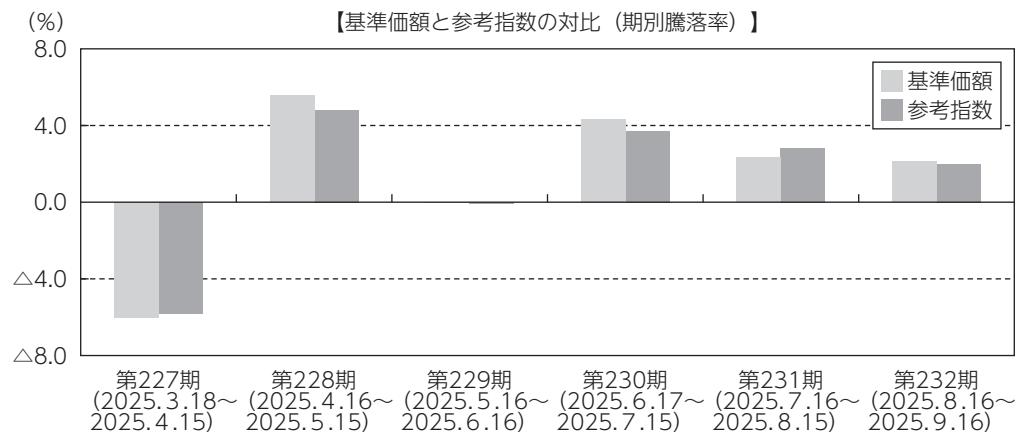
※基準価額は、当作成期間における分配金を再投資したものとみなして計算しています。

## ●国内短期公社債マザーファンド

残存期間の短い国債などで運用を行いました。

## ■ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。  
グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

## ■ 分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきました。なお、収益分配金に充てなかつた利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ■ 分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第227期	第228期	第229期	第230期	第231期	第232期
	2025年3月18日 ~2025年4月15日	2025年4月16日 ~2025年5月15日	2025年5月16日 ~2025年6月16日	2025年6月17日 ~2025年7月15日	2025年7月16日 ~2025年8月15日	2025年8月16日 ~2025年9月16日
当期分配金（税引前）	15円	15円	15円	15円	15円	15円
対基準価額比率	0.72%	0.69%	0.69%	0.67%	0.66%	0.65%
当期の収益	15円	15円	15円	15円	15円	15円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	623円	625円	626円	628円	629円	631円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

### ●当ファンド

フロンティア・ワールド・インカム・ファンドでは、資金動向や市場動向等に留意し、引き続きボンド・ファンドへの投資配分を高位に維持して、新興国の政府または政府機関等が発行する債券に実質的に投資することにより、長期的に安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指す方針です。また国内の短期金融市場動向に加え、資金繰りの状況等を勘案して、国内短期公社債マザーファンドの組み入れを適宜行う方針です。

### ●ボンド・ファンド

コロナ後の債務再編やソブリン債の広範な信用力の改善を受けて投資家は新興国債券の発行体のファンダメンタルズの底堅さに一段と注目する傾向が見られます。ファンダメンタルズの底堅さと需給要因を支えに先進国通貨建工マージング債券のスプレッド（利回り格差）は今年後半を通じてやや縮小すると予想しています。こうした見通しの下、各国固有の状況等を考慮しながら積極的に投資機会を模索し、ポートフォリオを構築していく方針です。

### ●国内短期公社債マザーファンド

日銀は2025年7月の金融政策決定会合で、政策金利を0.50%とする金融政策を維持しました。日銀は引き続き政策金利の引き上げを行うと見られますが、欧米のような大幅な利上げは見込まれず、今後の金利上昇は限定的なものとなることが見込まれます。そのため、今後も公社債などへの投資を通じて、安定的な運用を目指します。

## お知らせ

### 約款変更のお知らせ

■当ファンドおよび当ファンドが投資対象とする「国内短期公社債マザーファンド」において、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、「運用報告書の交付」を「運用状況にかかる情報の提供」に変更しました。

(2025年4月1日)

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書について書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

■当ファンドが投資対象とする「国内短期公社債マザーファンド」において、新NISA制度の成長投資枠の要件に沿った表記に改めるため、デリバティブの使用目的を明確化しました。

(2025年6月18日)

## 当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／海外／債券	
信 託 期 間	2006年3月31日から2028年9月15日まで。	
運 用 方 針	投資信託証券を主要投資対象として、長期的に安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	フロンティア・ワールド・インカム・ファンド	投資信託証券。
	フランクリン・テンプルトン・フロンティア・エマージング・マーケット・デット・ファンド	上場または非上場の新興諸国のソブリン債または準ソブリン債。
	国内短期公社債 マザーファンド	本邦通貨建ての公社債。
運 用 方 法	<p>以下の投資信託証券を通じて、主として新興国の政府または政府機関等が発行する債券に実質的に投資を行い、長期的に安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。</p> <p>ケイマン諸島籍外国投資信託 フランクリン・テンプルトン・フロンティア・エマージング・マーケット・デット・ファンドの円建受益証券 内国証券投資信託（親投資信託） 国内短期公社債マザーファンドの受益証券</p>	
分 配 方 針	<p>分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、経費控除後の利子・配当等収益を中心に安定した分配を継続的に行うことを目標に決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。基準価額水準や市況動向等を勘案して、前記の分配金額のほか、分配対象額の範囲内で委託者が決定する額を付加して分配する場合があります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。</p>	

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2020年9月～2025年8月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファン  
ドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとして計算しています。

### \*各資産クラスの指標

日本株…東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債…NOMURA-BP国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

(注) 海外の指標は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指標については後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指標について＞をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容（2025年9月16日現在）

#### ◆組入ファンド等

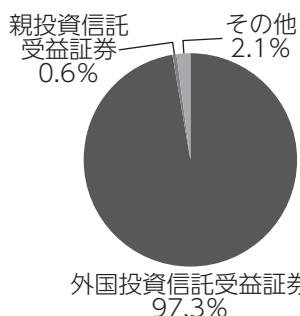
(組入ファンド数：2ファンド)

	第232期末
	2025年9月16日
フランクリン・テンプルトン・フロンティア・エマージング・マーケッツ・デット・ファンド	97.3%
国内短期公社債マザーファンド	0.6
その他	2.1

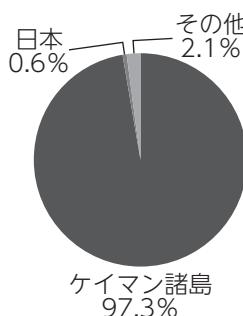
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

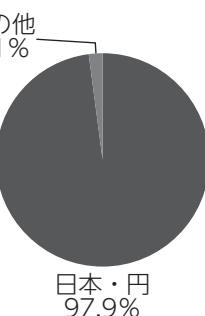
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。

(注3) 国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

## 純資産等

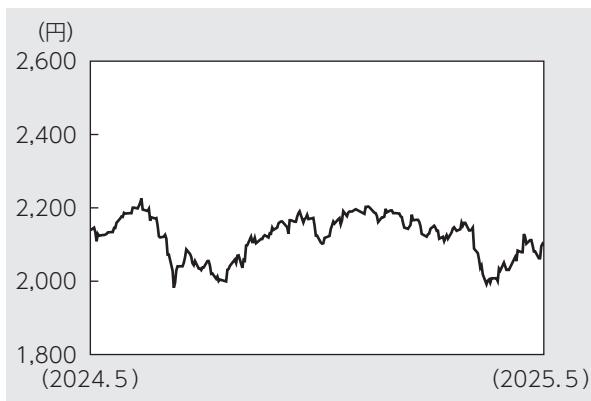
項目	第227期末	第228期末	第229期末	第230期末	第231期末	第232期末
	2025年4月15日	2025年5月15日	2025年6月16日	2025年7月15日	2025年8月15日	2025年9月16日
純資産総額	14,349,508,040円	15,139,547,162円	15,137,832,527円	15,700,974,768円	16,024,864,619円	16,361,546,083円
受益権総口数	69,566,425,450口	69,991,935,808口	70,507,310,735口	70,550,687,076口	70,832,365,311口	71,283,168,761口
1万口当たり基準価額	2,063円	2,163円	2,147円	2,225円	2,262円	2,295円

(注) 当作成期間（第227期～第232期）中における追加設定元本額は4,690,510,087円、同解約元本額は2,618,783,833円です。

## 組入ファンドの概要

【フランクリン・テンプルトン・フロンティア・エマージング・マーケット・デット・ファンド】 (計算期間 2024年6月1日～2025年5月31日)

### ◆基準価額の推移



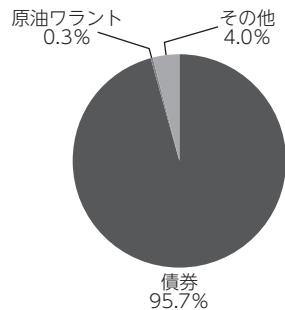
### ◆組入上位10銘柄

銘柄名	国(地域)	比率
Mexican Bonos 8.000% due 07/11/2047	メキシコ	3.0%
Romani 6.125% due 22/01/2044 REGS	ルーマニア	2.8
Asian Development Bank 17.500% due 18/02/2027	国際機関	2.6
Bogota Distrito Capital 9.750% due 26/07/2028 REGS	コロンビア	2.6
Angolan Government International Bond 8.000% due 26/11/2029 REGS	アンゴラ	2.4
Colombia Government International Bond 7.500% due 02/02/2034	コロンビア	2.4
Asian Development Bank 5.550% due 12/09/2025	国際機関	2.3
Heritage Petroleum Co. Ltd 9.000% due 12/08/2029 REGS	トリニダード・トバゴ	2.3
Government of South Africa 4.300% due 28/02/2041	南アフリカ	2.3
Kazmunaygas National Co. JSC 5.750% due 19/04/2047 REGS	カザフスタン	2.2
組入銘柄数		83銘柄

### ◆1万口当たりの費用明細

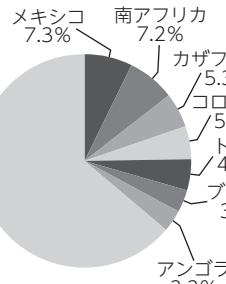
費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

### ◆資産別配分

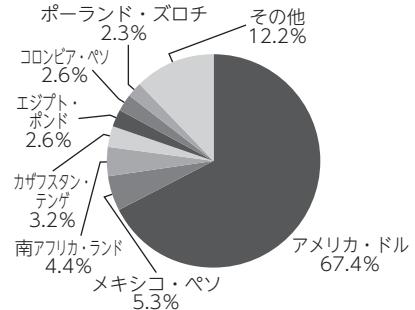


### ◆国別配分

その他 63.8%



### ◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移はフランクリン・テンプルトン・フロンティア・エマージング・マーケット・デット・ファンドの計算期間のものです。また、当期における分配金を再投資したものとしてアセットマネジメントOneが作成したものです。

(注2) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分については、フランクリン・テンプルトン・フロンティア・エマージング・マーケット・デット・ファンドの決算日現在の状況を表示しております。

(注3) 組入上位10銘柄のREGSは下記のとおりです。

(REGS) Regulation Sの略。米国外での証券の募集に関して1990年に米証券取引委員会より定められた規制です。米国企業が米国外で募集した証券については当局での登録義務が免除されており、米国証券を購入する海外投資家の負担を軽減しています。

(注4) 比率は、フランクリン・テンプルトン・フロンティア・エマージング・マーケット・デット・ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 資産別配分、国別配分の現金等はその他として表示しています。

(注6) 国別配分は、発行国もしくは投資国を表示しております。

(注7) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

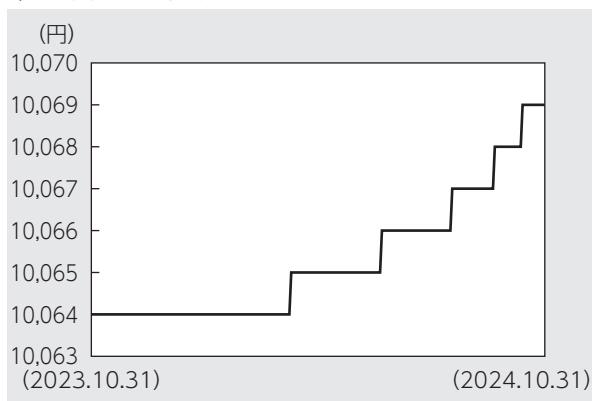
(注8) 国別配分については、国際機関債をその他に含めて集計しています。

(注9) 通貨別配分は各通貨に現金等を含みます。

(注10) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分は、財務書類等を基にアセットマネジメントOneが作成したものです。組入全銘柄や費用の総額に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

## 【国内短期公社債マザーファンド】 (計算期間 2023年11月1日～2024年10月31日)

## ◆基準価額の推移



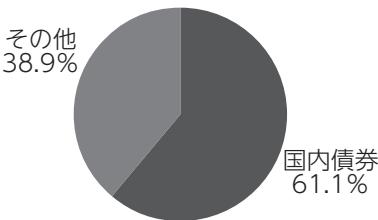
## ◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
443回 利付国庫債券（2年）	日本・円	30.6%
452回 利付国庫債券（2年）	日本・円	30.5%
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
—	—	—
組入銘柄数	2銘柄	

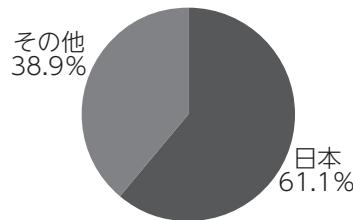
## ◆1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

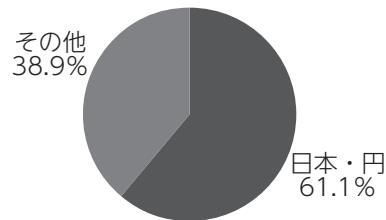
## ◆資産別配分



## ◆国別配分



## ◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注4) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注5) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

## ＜当ファンドの参考指数について＞

### ●JPモルガン エマージング マーケット ボンド インデックス グローバル ダイバーシファイド（円換算）

・JPMorgan EMBI Global Diversified indexは、エマージング諸国の発行する米ドル建て国債で構成される指数です。JPモルガン エマージング マーケット ボンド インデックス グローバル ダイバーシファイド（円換算）は、JPMorgan EMBI Global Diversified indexをアセットマネジメントOneが円換算したもので

・JPMorganは、「JPMorgan EMBI Global Diversified (JPモルガン エマージング マーケット ボンド インデックス グローバル ダイバーシファイド)」が参照される可能性のある、または販売奨励の目的でJPMorgan EMBI Global Diversifiedが使用される可能性のあるいかなる商品についても、出資、保証、または奨励するものではありません。JPモルガンは、証券投資全般もしくは本商品そのものへの投資の適否、またはJPMorgan EMBI Global Diversifiedが債券市場一般のパフォーマンスに連動する能力に関して、何ら明示または默示に、表明または保証するものではありません。JPMorganは、JPMorgan Chase & Coならびに全世界の同社の子会社および関連会社のマーケティングネームです。

Copyright 2006 JPMorgan Chase & Co. All rights reserved.

## ＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

●「東証株価指数（T O P I X）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数值および同指数にかかる標章または商標は、株式会社 J P X 総研または株式会社 J P X 総研の関連会社（以下「J P X」という。）の知的財産であり、指數の算出、指數値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利は J P X が有しています。

●「M S C I コクサイ・インデックス」は、M S C I I n c. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指數に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はM S C I I n c. に帰属します。また、M S C I I n c. は同指數の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「M S C I エマージング・マーケット・インデックス」は、M S C I I n c. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指數に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はM S C I I n c. に帰属します。また、M S C I I n c. は同指數の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「N O M U R A - B P I 国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指數の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社は、同指數の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●「F T S E 世界国債インデックス（除く日本）」は、F T S E F i x e d I n c o m e L L C により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指數はF T S E F i x e d I n c o m e L L C の知的財産であり、指數に関するすべての権利はF T S E F i x e d I n c o m e L L C が有しています。

●「J P モルガン G B I - E M グローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指數です。同指數に関する著作権等の知的財産その他一切の権利は J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指數の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

(このページは白紙です)

